

総 社 市 水 道 事 業 の 概 要 及 び 経 理 の 状 況

【平成21年度決算見込み】

本市の平成21年度給水量（有収水量）は、上水道と簡易水道を合わせて6,752,558 m³で昨年度と比較して2.91%減少しております。

また、給水件数は21,197件で8.29%の減少となっております。詳細につきましては、別表1をご覧ください。

主要事業といたしましては、安定給水を図るため、合併創設第1次変更事業、配水管改良工事、昭和簡易水道事業等を推進しました。

経理状況につきましては、別表2 損益計算書のとおり、税抜きで総収益10億3千183万8千円（前年度10億906万9千円）で2.3%の増加となっております。

一方、総費用につきましては、税抜きで10億1千644万6千円（前年度9億8千574万5千円）で3.1%の増加となっております。

この結果、当年度におきましては、1千539万2千円の税抜き純利益を生じる見込みであります。

今後においても、水道施設の計画的な整備と長期的展望にたった財政計画により経営の健全化に努めてまいります。

【平成22年度予算概要】

平成22年度の予算概要につきましては、業務の予定量を上水道、簡易水道を合わせて給水戸数23,500戸、年間総給水量7,911,000 m³を見込み、税込みで総事業収益11億6千30万円、安定給水に必要な総事業費用11億5千870万円を予定しております。

一方、資本的支出につきましては、継続して施工する必要がある水道施設整備費等として、税込みで9億130万円の予算を計上しております。

事業運営に当たりましては、より一層の経費節減と経営の合理化に努めたいと考えておりますので、今後とも格別のご理解とご協力をお願いいたします。

1. 給水状況 (H21. 4. 1~H22. 3. 31)

区分	上水道			簡易水道		
	平成21年度	平成20年度	増減	平成21年度	平成20年度	増減
給水件数(件)	19,059	21,020	△ 1,961	2,138	2,094	44
配水量 (m ³)	7,165,956	7,344,681	△ 178,725	742,644	739,164	3,480
給水量 (m ³)	6,113,578	6,315,894	△ 202,316	638,980	638,823	157
有収率 (%)	85.3	86.0	△ 0.7	86.0	86.4	△ 0.4

2. 損益計算書 (平成21年4月1日~平成22年3月31日)

(単位 千円)

項目	金額		
	上水道	簡易水道	合計
(1) 営業収益	880,283	86,492	966,775
(2) 営業外収益	2,340	62,723	65,063
(3) 特別利益	0	0	0
総収益 (1)+(2)+(3) A	882,623	149,215	1,031,838
(4) 営業費用	724,501	175,850	900,351
(5) 営業外費用	86,106	29,891	115,997
(6) 特別損失	94	4	98
総費用 (4)+(5)+(6) B	810,701	205,745	1,016,446
当期純利益(損失) A-B	71,922	△ 56,530	15,392

3. 貸借対照表（平成22年3月31日）

上水道

(単位 千円)

項 目	金 額	項 目	金 額
固 定 資 産	7,590,483	固 定 負 債	92,896
流 動 資 産	1,892,545	流 動 負 債	140,479
		負 債 合 計	233,375
		資 本 金	3,315,595
		剰 余 金	5,934,058
		資 本 合 計	9,249,653
資 産 合 計	9,483,028	負 債 資 本 合 計	9,483,028

簡易水道

(単位 千円)

項 目	金 額	項 目	金 額
固 定 資 産	3,807,495	固 定 負 債	5,373
流 動 資 産	224,005	流 動 負 債	86,756
		負 債 合 計	92,129
		資 本 金	1,501,683
		剰 余 金	2,437,688
		資 本 合 計	3,939,371
資 産 合 計	4,031,500	負 債 資 本 合 計	4,031,500

4. 企業債残高明細 (平成22年3月31日現在)

上水道

(単位 千円)

借入先	前年度末高 残	平成21年度		本年度末高 残	償還終期
		借入額	償還額		
財務省	1,885,144	26,000	274,738	1,636,406	平成52年3月
地方公共団体 金融機構	792,344	17,200	45,181	764,363	平成52年3月
吉備信用金庫	105,100	0	13,500	91,600	平成31年3月
中国銀行	0	76,000	0	76,000	平成32年3月
トマト銀行	0	104,300	0	104,300	平成27年3月
合計	2,782,588	223,500	333,419	2,672,669	

簡易水道

(単位 千円)

借入先	前年度末高 残	平成21年度		本年度末高 残	償還終期
		借入額	償還額		
財務省	971,931	0	29,731	942,200	平成50年3月
地方公共団体 金融機構	358,989	53,200	6,881	405,308	平成52年3月
合計	1,330,920	53,200	36,612	1,347,508	

5. 平成22年度予算の概要

収益的収支

(単位 千円)

項目	金額		
	上水道	簡易水道	合計
(1) 営業収益	922,670	90,120	1,012,790
(2) 営業外収益	2,230	145,280	147,510
総収益(1)+(2) A	924,900	235,400	1,160,300
(3) 営業費用	791,780	210,430	1,002,210
(4) 営業外費用外	95,220	61,270	156,490
総費用(3)+(4) B	887,000	271,700	1,158,700
差引 A-B	37,900	△ 36,300	1,600

資本的収支

(単位 千円)

収入		支出	
項目	金額	項目	金額
企業債	187,800	建設改良費	685,890
国庫補助金	21,889	企業債償還金外	215,410
分担金	37,301		
工事負担金	121,673		
他会計補助金	24,637		
計	393,300	計	901,300

資本的収入額が資本的支出額に対して不足する額5億8百万円は、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額、過年度分損益勘定留保資金及び減債積立金で補てんするものとする。

総社市工業用水道事業の 概要及び経理の状況

【平成21年度決算見込み】

本市の工業用水道事業は、工業の振興と地域の発展に寄与することを目的として、昭和63年8月から、受水企業の一部に給水を開始し、平成21年度では、19社に対し契約水量3,000立方メートル/日で給水いたしました。

経理状況につきましては、別表1 損益計算書のとおり、税抜きで総収益5千77万5千円（前年度5千146万1千円）で1.3%の減少となっております。これは、受取利息等の営業外収益が減少していることが主な原因です。

一方、総費用につきましては、税抜きで3千300万7千円（前年度2千392万5千円）で38.0%の増加となっております。これは、施設更新計画策定業務を委託したことによる委託料の増加及び特別損失の増加が主な原因です。

この結果、当年度におきましては、1千776万8千円の税抜き純利益を生じる見込みであります。

今後においても、安全・安定給水を図るとともに、計画的に施設の更新を実施することにより、事業の安定化に努めてまいります。

【平成22年度予算概要】

平成22年度の予算概要につきましては、受水企業19社、年間総配水量73万立方メートル、1日平均給水量2,000立方メートルを見込み、税込みで総事業収益3千460万円、総事業費用3千420万円を予定しております。

一方、資本的支出につきましては、工水メーター費及び企業債償還等に必要な経費として、税込みで2千500万円の予算を計上しております。

事業運営に当たりましては、引き続き効率的な経営に努め、事業の安定化に努めたいと考えておりますので、今後とも格別のご理解とご協力をお願いいたします。

1.損益計算書（平成21年4月1日～平成22年3月31日）

(単位 千円)

項目	金額
(1) 営業収益	49,275
(2) 営業外収益	1,500
(3) 特別利益	0
総収益 (1)+(2)+(3) A	50,775
(4) 営業費用	25,566
(5) 営業外費用	4,915
(6) 特別損失	2,526
総費用 (4)+(5)+(6) B	33,007
当期純利益 A-B	17,768

2.貸借対照表（平成22年3月31日）

工業用水道

(単位 千円)

項目	金額	項目	金額
固定資産	329,689	固定負債	10,631
流動資産	180,595	流動負債	6,239
		負債合計	16,870
		資本金	157,652
		剰余金	335,762
		資本合計	493,414
資産合計	510,284	負債資本合計	510,284

3. 企業債残高明細 (平成22年3月31日現在)

工業用水道

(単位 千円)

借入先	前年度末残高	平成21年度		本年度末残高	償還終期
		借入額	償還額		
財務省	52,666	0	7,579	45,087	平成29年3月
地方公共団体 金融機構	60,757	0	15,725	45,032	平成26年3月
合計	113,423	0	23,304	90,119	

4. 平成22年度予算の概要

収益的収支

(単位 千円)

項目	金額
(1) 営業収益	34,470
(2) 営業外収益	130
総収益(1)+(2) A	34,600
(3) 営業費用	28,510
(4) 営業外費用外	5,690
総費用(3)+(4) B	34,200
差引 A-B	400

資本的収支

(単位 千円)

収入		支出	
項目	金額	項目	金額
工事負担金	200	建設改良費	200
		企業債償還金外	24,800
計	200	計	25,000

資本的収入額が資本的支出額に対して不足する額2,480万円は、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額、過年度分損益勘定留保資金及び減債積立金で補てんするものとする。